

令和  
6年度

決

算

を

問

う



## 総括質疑 決算特別委員会

決算特別委員会では、9月24日、25日、26日、29日の4日間、23人の委員が決算全般について質疑を行いました。

### 学校休業日の児童館開館日



立憲・国民・ネット・無所属議員団  
中村 延子



**問** 基幹型で難しければ、乳幼児機能強化型児童館で9時間開館に延ばす検討をしては。事業者再選定のタイミングで検討を進める。

### 多文化共生に向けた協働体制

**問** 令和8年度から日本語学級が設置される。それぞれの母語や文化背景も大事にしたプログラムを進めていくべきと考えるがどうか。

**答** 児童・生徒一人一人の言語や生活環境等を踏まえた個

別サポートを大切にしてい

**問** これまで日本語教育を担ってきた中野区国際交流協会とも協力し、連携を進めながら、将来的には役割分担をしてはどうか。

**答** それぞれの役割を明確にし、効果的な支援を行う必要があると考えている。

**問** 課題共有・解決、民間同士をつなげる仕組み等、関連団体による連絡協議会のような仕組みを検討してはどうか。

**答** 連絡協議会を今年度中に設置することを検討していく。



自由民主党議員団  
伊藤 正信



### 令和6年度決算

**問** 経常収支比率は前年度比増の81・3%であった。特別区平均を超えた主な要因は。

**答** 新庁舎整備債の返還に伴う公債費の増と考えている。増要因を分析し、経常経費の削減に努めるべきでは。

**答** 経常経費比率の数字を考慮し、経費削減に努めていく。積立基金運用益は過去3年間で約4倍増加したが、今後の基金運用の展開を伺う。

**答** 金利の上昇傾向を踏まえ、繰入計画や歳計現金の状況を見据えた運用に努める。

### 中野区バリアフリー基本構想

**問** より実効性のあるバリアフリー化実現に向けた改定の

検討状況は。

**答** 移動等円滑化促進方針の策定や学校連携教育事業の実施を検討している。

**問** 改定協議会での議論は。高齢者や障害者団体からの具体的な体験談を交えた意見交換が行われている。

### 公園の樹木剪定

**問** 樹木の成長に合わせて剪定本数を増やすなど、より適切な樹木管理をしてはどうか。

**答** 剪定樹木の対象を含め、適切な公園管理を検討する。



## 区議会各会派のEメールアドレス

|                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 立憲・国民・ネット・無所属議員団 | rikkenakano@gmail.com     |
| 自由民主党議員団         | office@njp.gr.jp          |
| 公明党議員団           | netnakano@gmail.com       |
| 日本共産党議員団         | mail@jcpnakanoku.net      |
| 都民ファーストの会中野区議団   | tomin1st.nakano@gmail.com |

### 選ばれる自治体への取り組み

**問** 区でもセクシュアル・ライティの考え方を取り入れ、職員を支援することが重要だと考えるがどうか。

**答** 身体や健康に関して必要な支援を受けられる取り組みの充実を図っていく。

**問** 女性の健康不調の経済損失を意識した取り組みが重要である。生理や更年期からの不調は医療にかかることで改善が期待できる。職員のQOL向上や労働力確保にもつながるため啓発を進めては。

**答** 女性の健康に関する正しい知識の啓発に取り組む。

### 物価高騰を反映した助成



公明党議員団  
平山 英明



**問** 老人クラブへの助成金の算定基準はあるのか。

**答** 月額で定めているのみで、それ以外の細かな基準はない。

**問** 物価高騰が続く中、2017年から8年もの間、助成額が変わらなかった理由は。

**答** 8年間のうち、前半は物価の大きな変動がなく、直近2、3年は物価高騰の影響が見られたものの、都や区の支援により収支は一定程度賄えていたためである。

**問** 町会連合会から、地域自治活動及び協力活動助成金の算出方法の見直しと増額についての要望があった。今年度、助成金単価が上がったが、引上げ額を10円とした根拠は。

**答** 消費者物価指数の前年同月比2・6%の上昇を反映したものである。

**問** 最初に物価高騰が起きた段階で、年度ごとに適切に単価を上昇させていくべきであった。今後、助成単価のさらなる引上げが必要ではないか。

**答** 物価動向を注視し、適正な助成単価を設定していく。

**問** 町会は地域の安全・安心に欠かせない存在である。地域の活性化と住民参加の促進を図るため、助成割合を10分の10に引き上げるべきでは。

**答** 今後検討していく。

### 地域密着型FM放送局の設置検討

**問** 文化・芸術の発信や非常

時の災害情報の伝達のため、区の情報発信の新たな構築が必要である。なかのZ EROにFM放送局の設置を検討できないか。

**答** 当該施設をコミュニティFM放送の拠点とすることについて検討していきたい。

### 学びの多様化推進

**問** 区内への多様な学びの場の設置を求めるが、子どもたちにとって最良な環境を追求するため、積極的に民間の理念や手法を研究するべきでは。

**答** 民間に運営委託した教育支援室の成果と課題を踏まえ、子どもたちにとってよりよい環境整備の在り方を検討する。

### 地域に飛び出す公務員

**問** 地域の声を聴くため、若宮・大和地域のまちづくりの担当職員は、週1日、大和区民活動センターで業務を行うなどの体制を構築すべきでは。

**答** 対応を研究していきたい。

### ユニバーサルデザイン

**問** なかのZEROホルの改修工事はまもなく完了するが、ユニバーサルシートは設置されるのか。

**答** 検討してきたが、設置はできなかった。

**問** 対象の方々と話し合いをして、対応を取るべきでは。

**答** 代替やそれを補う方法について今後検討していきたい。